

じんじゃじいんどうぼんやねこうじ
 神社寺院銅板屋根工事

平成
 13年度
 認定



せきどひでみ
 関戸 秀美 さん

赤坂迎賓館、鎌倉鶴岡八幡宮など全国の歴史的建造物の修復に携わる、伝統的「鍛金」「彫金」技術の匠。

あれ？

わあ 大きい！

ねえお父さん あれなあに？

ん？

あの屋根の上にある、どんぐりみたいなもの

どんぐり？ 玉ねぎじゃなくて？

あれは ほうじゅの宝珠って いうんですよ

正確には「如意宝珠」 「意のままにとらまざるまな 願いをかなえる宝」と いう意味です

ありがとうございます すごいです お寺の方ですか？

たからもの？

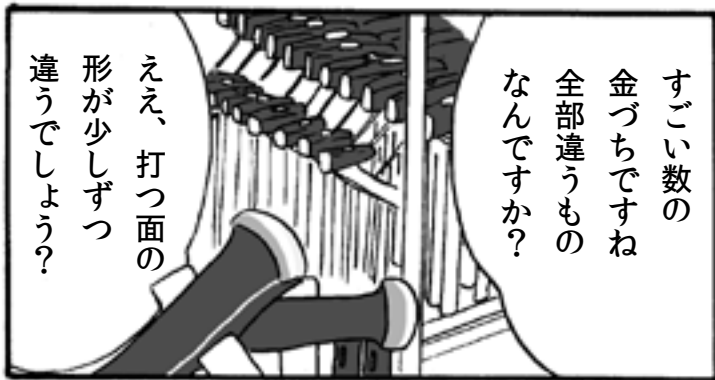
あれ を作ったの？ すごい！

よかったら 職場を見に来る かい？

いいんですか？

いえ、私は銅板屋根の職人で、あの宝珠は私が作ったんですよ

神社寺院銅板屋根工事
 関戸 秀美さん



ええ、打つ面の形が少しずつ違うでしょう？

すごい数の金づちですね全部違うものなんですか？

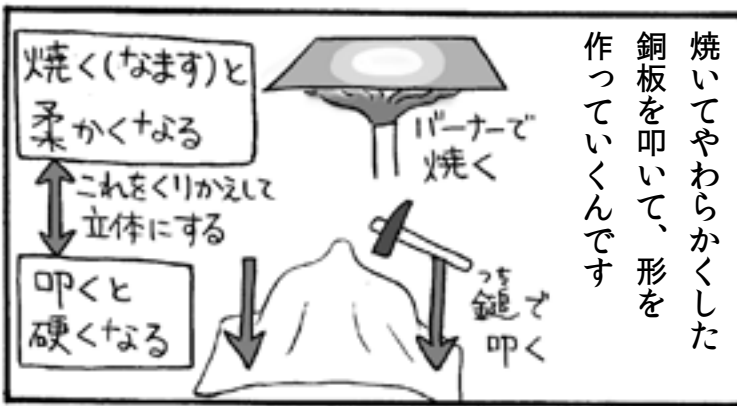


うわー！
ピカピカ
だー！



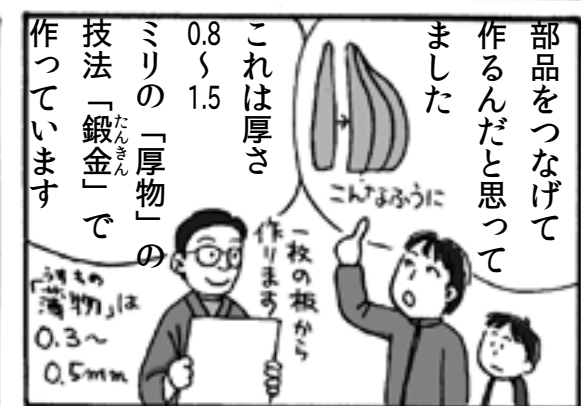
自分で直したり作ったりしています

当て金^{がね}といつしよに使うんですが仕事のたびに必要な形が違います



焼く(なます)と柔らかくなる
↑これをくりかえして立体にする
叩くと硬くなる

焼いてやわらかくした銅板を叩いて、形を作っていくんです



これは厚さ0.8〜1.5ミリの「厚物」の技法「鍛金」で作っています

部品をつなげて作るんだと思ってました
一枚の板から作りまう
「薄物」は0.3〜0.5mm



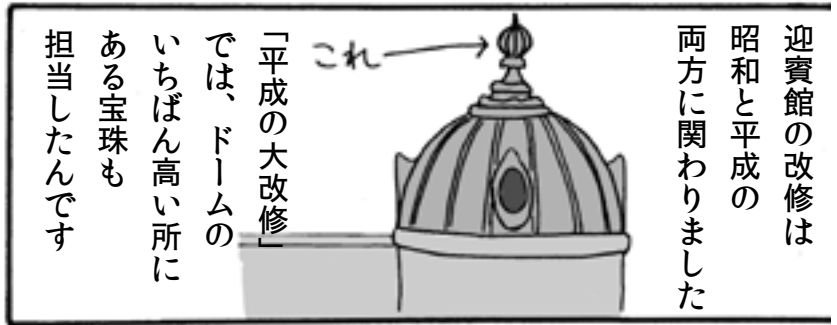
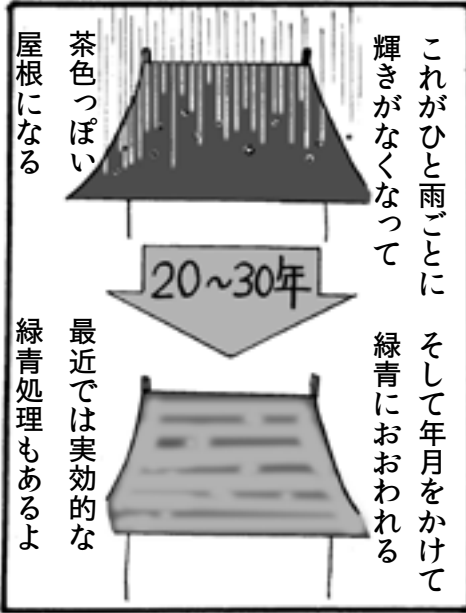
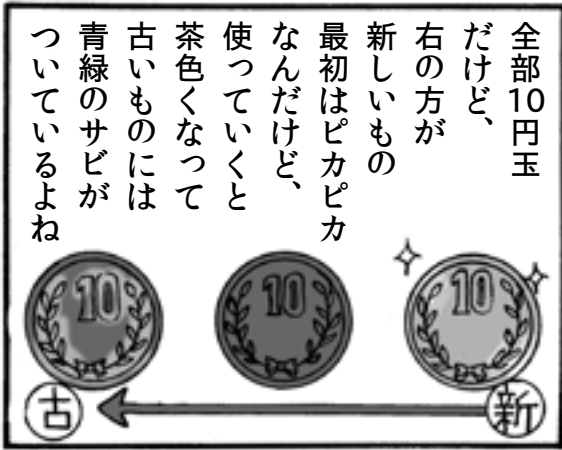
はーおもしろーい!!
叩いたところが輝いてきたでしょう？



材料を薄くのぼして玉にするんですか？
のぼすんじゃないんです絞るんです
平らな板を立体にするとしわができる
これを叩いてうまくおさめるんです



適した金づちと当て金を選びながら、叩いていくと銅の輝きが戻ってきます



※迎賓館：赤坂迎賓館。外国の元首や首相など賓客の宿泊・接遇を行うための国の施設。明治期洋風建築の代表作の一つで、2009年に国宝に指定された。



有限会社関戸

宝珠などを作る「鋳起」の技能をはじめ、伝統的な卓越した技術を発揮して、銅板屋根工事のすべてを芸術的に仕上げます。

- 住所／川崎市多摩区登戸新町 67-1
- 電話／044-922-5064
- ファックス／044-922-5064
- 営業時間／午前8時～午後5時
- 休み／日曜、祝日

※鶴岡八幡宮：神奈川県鎌倉市にある神社。源氏の守護神として、源頼朝によって現在の場所に移された。建造物の多くは国指定重要文化財である。